

令和元年度 新潟市立図書館指標別評価シート

【中央図書館のみ】

区分	評価指標	H29実績	H30実績	R1実績 (確定値)	前年度比	図書館運営全体		
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価	
	資料購入費：決算数値(千円)	37,459	32,761	28,244	0.86	<p>・資料購入費が減額になったが、全図書館で効率的効果的な選書をし、資料の提供に努めた。</p> <p>・登録者数の減少に伴い、貸出点数も減少した。新規登録者を増やし図書館利用につなげることが課題である。</p> <p>・入館者数の減少は、2月下旬に市内で新型コロナウイルス感染症が発生し、外出自粛の傾向となり、3月の入館者数減少につながったと考えられる。</p>	<p>3 大変評価する。27%</p> <p>2 ある程度評価する。64%</p> <p>1 評価できない。9%</p>	<p>・入館者数が減少したが、外出自粛期間を除いて考えれば例年通りの水準となっており高く評価する。コロナ禍での運営で大変な部分もあったが、感染防止対策もされており、利用したいと考える人が多いと感じた。</p> <p>・研修等利用していない館は、管理等困難かもしれないが開放したらどうか。</p> <p>・また、児童図書に近い、育児・子育て(保護者が読みそなもの)に関する図書を配置してほしい。幼児期の子どもと一緒に来館しても、育児・子育てに関する本を探しに行こうという時期もある。(子どもが嫌がり、待てないことがある)その為、近くに設置を望む。</p> <p>・初めての子育てで分からないことばかりで、本からヒントをもらったりすることが多い。また子育て中は、悩みごとははつきりしているが、どのような本を選んだらよいか迷うことがある。そのような場合、司書からアドバイスをもっともらえたい。『ママ司書』の育成をしてほしい。児童館はもちろん、図書館に保護者で悩みを抱えて本を読んで勉強する人は多いと考える。</p> <p>・外に向かっている働きかけの着眼点が良いと思った。</p> <p>・選書についても限られた予算の中で、司書が色々話し合っていて購入しているとのこと、とてもありがたいと思った。</p> <p>・今はこの時期は「仕方ない」と思った。</p> <p>・登録者数というのは、一度登録した人は基本的にずっとカウントされているのでは？ 新規登録者が増えないのは何となく理解できるが、過去に登録した人も「減少している」とすると、その原因をよく分析する必要があるように思う。</p> <p>・対応予算の増減が一概に貸出増減に高くなると思えない。</p> <p>・最近では電子書籍他気軽に同時に書籍情報が得られることから利用減につながることはご承知と思われる。選書会議の説明を受けたが、求める本、読みたい本、書架数が少ないため置きられしてしまうこともある。分類別蔵書、貸出や蔵書に対する貸出等実績数を見て、マンガ、郷土誌関係、技術関係等の資料を選書会議で検討することが大切である。</p> <p>・予算削減の中で、努力する姿がうかがえる。令和元年度は、年度末に新型コロナウイルスの感染が拡大し、大きな影響を受けた。それがなければ前年度並みの水準は保てたのだろう。</p> <p>・資料購入費がさらに減額されたが、職員のみによる資料の提供に努めたことを評価する。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症という未曾有な出来事が起こったことでの入館者数減少は当然の現象だった。従来の生活が戻った安心した図書館利用は、まだ先の事かと考えられる。この時にこそ、身近な図書館の存在が見つけ直されることだろう。</p> <p>・数値的な評価結果は、長期的なスパンで変化を見る必要がある。特に今年度の場合のようなコロナ禍でのデータは、来年度以降の評価時にどう評価するか検討が必要。</p> <p>・予算減額が続く中、どのように市民の要望に応えるか、市民から読み終わった本の寄贈を募ったり、古書を買ったりとか対応策を考えていって必要がある。</p> <p>・蔵書点数が増加した点は、評価できる。</p> <p>・感染症の影響は大きい。貸出につながるための方法を今後検討していきたい。</p>
	蔵書点数(点):図書・AV	472,147	481,075	484,745	1.01			
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	1,093,896	1,085,360	1,036,233	0.95			
	個人の登録者数(人)	40,357	38,766	36,548	0.94			
	(内新規登録者数)	4,609	4,800	4,204	0.88			
	入館者数(人)	557,519	555,547	523,914	0.94			

区分	評価指標	H29実績	H30実績	R1目標	R1実績 (確定値)	自己評価	評価(次年度への展開)		
図書館運営	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」					自己評価	外部評価		
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	24,525	21,734	22,000	24,473	3	<p>・レファレンス件数は2年前とほぼ同じ件数に戻ったが、ビジネス支援相談受付件数は減少したため、PRが課題である。</p> <p>・全図書館での予約件数は増加しており、中央図書館以外の身近な図書館を受け取りに利用者が増加したことにより、中央図書館の予約件数が減少した。</p>	<p>3 大変評価する。18%</p> <p>2 ある程度評価する。82%</p> <p>1 評価できない。0%</p>	<p>・レファレンス自体を知らない人も多く感じる。ビジネス支援相談受付についても、案内の仕方を検討してほしい。</p> <p>・レファレンス件数が2年前とほぼ同じに戻ったことを評価する。</p> <p>・中央図書館として図書館に人が増えたのは良かったと思う。</p> <p>・コロナ禍で来館者は減っても、書籍へのニーズはむしろ高まっているように感じる。ネット予約で地域の図書館で受け取る人が多いことから、そのことがうかがえる。中央図書館なども、ネット予約&ドライブスルー貸出など工夫すれば、貸出数をもっと増やすことができるのではないかな。</p> <p>・色々な期間、ジャンル、ジャンルの利用者対応を求められる(多様化、高度化)重要な事業であり、利用者の信頼と評価を高める図書館利用方法の質的向上と利用者増につながっていくのではと思う。皆様の努力と併せて評価。</p> <p>・技術革新が著しく、またコロナ禍でかられるように多岐にわたる生活様式、新しい社会制度、社会環境変化に対応していくスキルアップ等のための情報確保の重要性は高いので、PRや個別支援を一手し、より利用へ。</p> <p>・ビジネス支援はPR不足といえるだろう。個人予約に関しては、ホームページ(HP)の扱いやすさが大きな効果を発揮している。ただし、後高しやすいかと問われたら、まだ改善の余地はあると感じている。レファレンスのPRを含めて、HPの見直しも進めてほしい。</p> <p>・ビジネス支援相談受付のPRの検討に期待したい。</p> <p>・ネットワークなどで、レファレンスを増やし、それに応える施策など、どうすればもっと件数が増やせるかを考えてほしい。</p> <p>・レファレンスに当たるためのマニュアルの確立などを進めてほしい。</p> <p>・ビジネス支援相談受付件数の減少の原因は何が考えられるでしょうか？</p> <p>自己評価にもあるように、情報の周知は課題。</p>
	個人予約件数(件)	137,203	137,547	140,000	134,130	2			
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	287	281	285	176	1			
特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」					自己評価	外部評価			
郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	41,175	42,405	42,500	43,872	3	<p>・郷土・行政資料の収集を進め、市民への提供に努めたが、貸出数は目標に到達しなかった。</p> <p>・職員派遣人数は、依頼が増えたことから目標を上回ったが、連携・協力事業は相手方からの依頼が減少したこともあり、目標を達成できなかった。</p>	<p>3 大変評価する。36%</p> <p>2 ある程度評価する。64%</p> <p>1 評価できない。0%</p>	<p>・利用者が減っており、目標まで達することが出来なかったが、H29実績と同じくらい貸出しており成果が出ていると感じた。</p> <p>・コロナウイルスのこともあり、今は仕方がないと思う。</p> <p>・歴史的なことや人物などに偏ることなく地域、色々なジャンルや地域で活躍する産業や生産物、作品、著名人等掘り起しの感覚で紹介していただくという理解を深め図書館への愛着が湧く。</p> <p>・郷土に関する資料は、貸出件数で評価すべきものではない。残さなければなくなってしまふものとして捉えてほしいし、資料の価値を見極めた上で積極的に蔵書を増やしてほしいと考える。</p> <p>・郷土・行政資料の収集を進めたことは評価したいが、市民への提供方法の検討も期待したい。</p> <p>・公民館事業のあり方や図書館が連携事業を行う意義を検討する余地があるのだろうか。</p> <p>・ここという「分権型図書館」とは、どういうことかよくわからないので、はっきりさせ、その評価の意味を吟味してほしい。</p> <p>・郷土資料の収集は、持っていた人が亡くなった時、上手にしっかり集め保存する必要がある。</p> <p>・郷土・行政資料の蔵書の増加は、評価する</p>	
郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	6,988	7,234	8,000	6,901	1				
職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	2	0	2	3	3				
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	18	24	25	21	1				
施策・事業(各図書館)	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」					自己評価	外部評価		
	児童書の貸出冊数(冊)	230,157	231,751	232,000	222,847	2	<p>・子ども・親子対象事業では、実施事業の見直しを行い参加しやすい事業に加え、学習や図書館検索機や読書クイズを取り入れるなど工夫を行った。実施回数(26回→16回)を減らしたため、目標には達しなかった。</p> <p>・職場体験は3か月前から受付を行い、できる限り実施日程の調整を行っているが、学校の希望日が重なり目標に達することができなかった。</p> <p>・講師の派遣人数は、学校支援センター全体で派遣先を振り分けたため中央図書館においては減少した。</p>	<p>3 大変評価する。27%</p> <p>2 ある程度評価する。64%</p> <p>1 評価できない。9%</p>	<p>・子どもに関する事業は、コロナ禍では目標に達しないのは仕方ないと思う。コロナ禍でも、子ども達が多くの本に出会えて、興味を持てるよう活動してほしい。</p> <p>・今はこれで良いのではと思う。コロナウイルスや学校の日程調整など難しいところもあると思うが、少なくとも続けられるようなら活動を続けてほしいと思う。</p> <p>・1950年代の学校図書館法制定から専任の学校司書配置が始まり整備5ヶ年計画等から重点的対策実行の積み重ねにより全国的なこの地位を確立されたことに敬意を表すと共に評価。維持向上を期待する。</p> <p>・年度末近くにコロナ禍で対応に苦慮の上、新規事業に努力されたと思う。実績に伴わず残念。その中でコロナ感染拡大防止対応当初に、ことごとくよかんで本の福袋のようなことが出来れば良かったと思うが、難しかったのだろうか。今後の災害時その他で参考になるのではと思った。貸出冊数・期間の拡大対応はもっと早くできなかったか。</p> <p>・目標値の設定が高いため前年度実績に到達していないが、決して自己評価通りではなく、及第点だといえる。反省点を生かし、次年度に向けて努力してほしい。</p> <p>・子ども・親子対象事業での事業見直しを行い参加しやすくなることを評価する。</p> <p>・職場体験では、学校側が日程調整しやすい時期の調査がしてあるのかが気になる。子どもたちに良い事業を活用してもらうため、働きかけの努力を期待したい。</p> <p>・なにしろ、授業に役立つ本や面白い本、心に残る本を司書や教師が見つければ、子どもに勧めることが大切だと思う。中学校関係者にもそれをしっかりとしてほしいと思う。</p> <p>・図書館で読める本をまず学校で読ませることが大切だと思う。そのように市教委も動いてほしいし、図書館もそういう本を探す力と努力を高めてほしい。</p> <p>・図書館での職場体験の機会などは、学校主催だけでなく、図書館主体の行事に取り入れてほしい。学校と図書館の日程が合わなかったなどという理由では工夫が足りなさすぎる。子どもと図書館の関係性を深めてほしい。</p> <p>・どの事業も継続を希望する。感染症対策が難しいと思うが、ご検討いただければと思う。</p>
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	34,296	28,783	28,000	26,211	2			
	子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	5,069	8,819	8,000	4,568	1			
	職場体験受入人数(人)	34	32	30	22	1			
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	33	23	25	20	1			
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	2	1	3	1	1			
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」					自己評価	外部評価			
図書館ボランティア活動者数(延人数)	1,705	1,377	1,700	1,121	1	<p>・新型コロナウイルスの影響で、令和2年3月からボランティア活動がストップしたため、ボランティア活動者数が目標に達しなかった。</p>	<p>3 大変評価する。18%</p> <p>2 ある程度評価する。82%</p> <p>1 評価できない。0%</p>	<p>・ボランティア活動が休止して、活動者数が減るのは仕方がないと思う。</p> <p>・ボランティア団体交流会参加者数が目標達成しており、参加者の積極性が感じられる。</p> <p>・思ったより多い人数が活動したと思った。</p> <p>・ボランティア育成は手間と努力が必要と思われるが館への協力的存在者として一定の予算化と柔軟な指導育成を望む。</p> <p>・ここにも新型コロナウイルスの影響が出ている。課題克服に向け、継続的に取り組んでほしい。</p> <p>・コロナウイルス感染症という未曾有な出来事が起きたことでの現象であった。</p> <p>・ボランティアとのパートナーシップなどもなるとしていろいろ工夫して活発にやっていただきたい。</p>	
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	43	26	30	52	3				
利用者の意見を把握する機会の設定(回) (協議会3回)	3	3	3	3	2				
共催・協働事業の実施件数(件)	46	39	40	39	2				
効率的・効果的な運営(職員)					自己評価	外部評価			
研修参加職員数(延人数)	281	345	350	274	1	<p>3 大変評価する。18%</p> <p>2 ある程度評価する。73%</p> <p>1 評価できない。9%</p>	<p>・研修の見直しは定期的に必須と考える。司書の状況に合わせた、研修を導入しより良い図書館運営を行ってほしい。</p> <p>・参加人数が減ってもスキル維持や向上をしているなら問題ないと思う。</p> <p>・研修制度を見直したというが、内部の研修では発見できないものが外部研修にはあるはずだ。予算的な措置も勘案しての見直しだろうが、職員のスキルアップに向けて考えてほしい課題だと思う。</p> <p>・図書館内部の研修の見直しと参加職員数の減少は、どのような関係性があるのだろうか。</p> <p>・継続を希望する。</p>		

※「自己評価」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った